

まいぶん出張講座(講師派遣)のご案内



埋文センターでは、高学年の子どもたち向けに、やさしい言葉で歴史のお話を聞く出張講座をお受けしています。



Q 話してもらう内容はなんでもいいの？

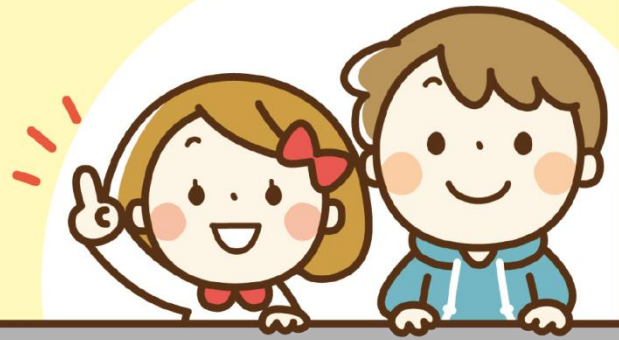
A はい。話してほしいテーマがあればできるだけお応えします。
また、実際に子どもたちがさわられる遺物を持参することもできますので、ご相談ください。

Q 専門的な用語が多いと、子供たちがわからない。

A できるだけわかりやすい表現でお話しますのでご安心ください。

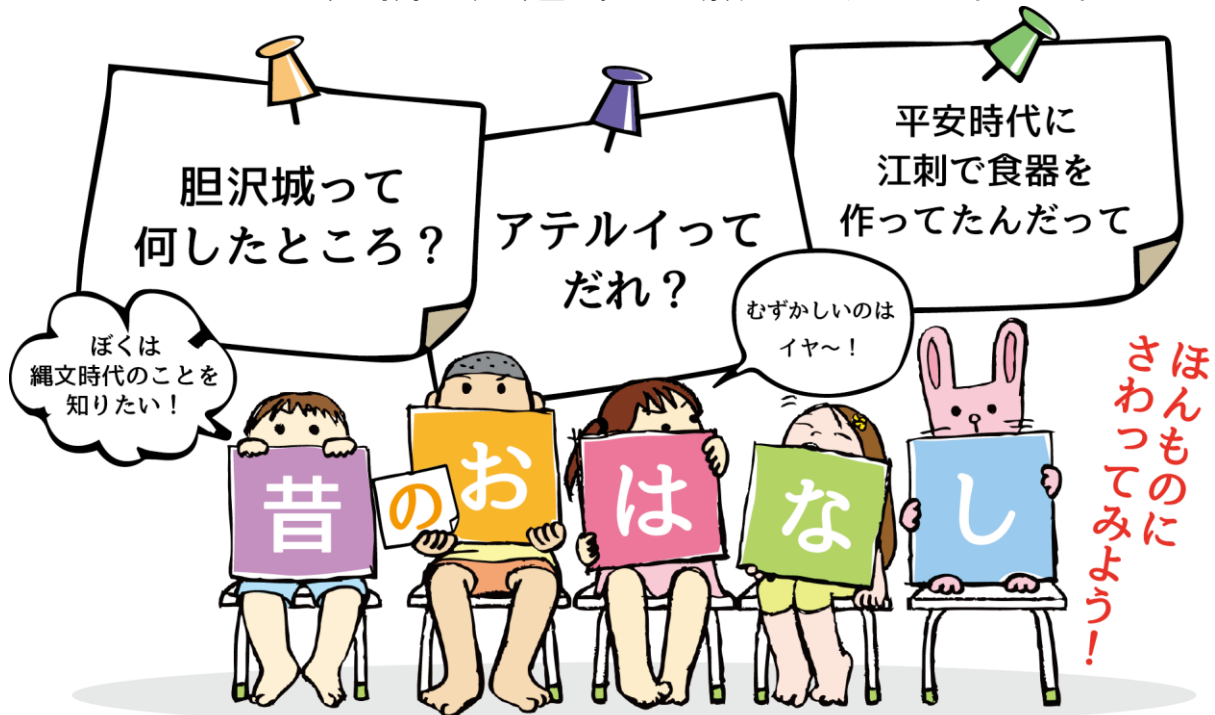
Q 短い時間でもいいの？

A ご希望の時間に合わせてお話しします。子どもたちの総合学習の時間などにお役立てください。



(お願い) ●必ず事前に埋文センター担当者と打ち合わせをお願いします。

●日程・時間など、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。



お問い合わせは

奥州市埋蔵文化財調査センター


〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字九蔵田 96-1 TEL 0197-22-4400 FAX 0197-22-4600

URL: <http://www.oshu-bunka.or.jp/maibun/> E-mail: maibun@oshu-bunka.or.jp

まいぶん出張講座テーマ（例）

表は一例です。話してほしいテーマがありましたらできるだけお応えします。
はじめは漠然としていてもかまいません。まずはご相談ください。

＝ わかりやすい言葉で聞く歴史のおはなし ＝

テーマ	内 容	持参する遺物
胆沢城	わたしたちの奥州市には、「胆沢城」という平安時代はじめに造られたお城がありました。 <ul style="list-style-type: none"> ・胆沢城はいつ造られた？ ・胆沢城を造った人はだれ？ ・胆沢城はなにをすところ？ ・胆沢城ができて変わったこと 	かわら・土器など 
アテルイ	東北地方に住んでいた人を、都のひとたちは「えみし」と呼んでいました。 <ul style="list-style-type: none"> ・アテルイとは？ ・エミシとは？ ・アテルイが住んでいたところ 	パネルなど 
奈良時代 平安時代	奥州市の奈良・平安時代 <ul style="list-style-type: none"> ・土師器<small>はじき</small>と須恵器<small>えき</small>。 平安時代の食器は、江刺にあった焼き物工場で作られていました。 <ul style="list-style-type: none"> ・当時はどんなものを食べていたの？ ・アクセサリーより服の色が重要だった。 	つき <small>かめ</small> 坏 <small>つぎ</small> ・甕 <small>かめ</small> など 
縄文時代	奥州市の縄文時代 <ul style="list-style-type: none"> ●縄文時代のくらし <ul style="list-style-type: none"> ・どんなものを食べていたの？ ・縄文人たちのおしゃれ ●土偶の顔から、どんな人が想像してみよう 	土器・土偶など 
埋文	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査センターの仕事 ・遺跡がある場所は、昔から人が住みやすかった。 	パネルなど

★子どもたちが実際にさわれる遺物を持参できます。お問い合わせください。★